

リハビリテーション科初期研修プログラム

必ず習得するアウトカム

1. 高齢者の健康・福祉の問題を地域リハビリテーション、地域包括ケアの観点から理解できる
2. 高齢者の健康問題を理解し、初期対応とリハビリテーションの処方ができる
3. 日常臨床で役立つ基礎的画像診断能力を身につける

研修目的

地域医療の担い手として高齢者の健康問題および保険行政への理解深め、プライマリケアを実践する能力（態度、技能、知識）を修得することを目的とする。また、地域医療研修に必要な能力（態度、技能、知識）を修得することも目的とする。

研修目標

◇ 一般目標

地域リハビリテーションおよび地域包括ケアでリーダーシップをとれる能力を習得する。

◇ 行動目標

1. 地域リハビリテーションおよび地域包括ケアユニットを理解する
2. 高齢者の代表的な疾患群について病態を理解する
3. 病歴だけでなく生活環境も聴取することができる
4. 身体所見、神経学的所見がとれ、評価ができる
5. 日常臨床において頻度の高い疾患の画像診断における特徴を学ぶ
6. CT、MRI、RI 画像を読影・解釈し、画像診断レポートを作成する
7. 脳血管・運動器・循環器・呼吸器・廃用・がんに対するリハビリテーションを理解し、処方することができる
8. カンファランスで担当症例のプレゼンテーションを行うことができる
9. 義肢装具の処方を理解する

指導責任者および指導医

指導責任者： 伊藤 修 (リハビリテーション科)

指導医： 高橋 麻子 (リハビリテーション科)